

報告日 令和7年9月5日
報告回次 3回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良市			代表者名	仲川 元庸
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	AI活用推進課	連絡先電話番号	0742-93-3425
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	染川 実希	連絡先E-mail	
住所	630-8580 奈良県奈良市二条大路南一丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	AI活用の推進
概要	全庁職員向けに以下を目的とした研修を、自治体職員目線で実施いただきたい。 ①AIリテラシー向上 ②利用方法の具体的な理解 ③庁内意識改革		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	502	令和7年8月25日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月30日	支援・助言（オンライン）	9時30分	16時15分	60
				活動時間（分）	345
派遣場所	会場名	奈良市役所		最寄駅	近鉄新大宮駅
	所在地	奈良市二条大路南一丁目1番1号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	・受講者のアンケート評価も高く、本市における生成AI利活用における大きなステップを踏むことができた。 ・都城市の運用事例が非常に参考になり、本市の実情に即した具体的な助言を得ることができた。 ・研修資料と講師の話し方が分かりやすく、基礎から実践まで体系的に学べた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きご助言よろしくお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	87人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	○		○

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本年度、本市においてAIに特化した「AI活用推進課」が新設され、生成AIの本格的な利活用が開始されたが、R7.4月時点での活用状況は、全庁職員のうち約2割にとどまっている。 AI技術や具体的な活用方法に対する理解不足があるほか、AI利用者のセキュリティに対する知識・認識不足、職員間での活用に対する情報格差が懸念されており、これらの課題は、AIを活用した業務効率化推進における喫緊の課題となっている。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	「AIリテラシーの向上」「AIの具体的な活用方法の理解促進」「意識改革」により、AI活用が浸透し、所属課・事業単位での業務効率化を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・DX推進リーダーを対象とする「生成AI活用入門＆ハンズオン研修」の実施 生成AIの基礎から実際の業務で役立つハンズオン操作に至るまで、実践的なスキル習得を目的とした研修を計3回実施いただいた。行政における生成AIを活用した業務効率化の具体的な実践スキルを身につけることを主眼とし、受講者がスムーズに研修できるよう独自の生成AI環境の提供もしていただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・研修では、自治体で活躍する講師から、生成AIの活用における留意点や具体的な工夫について、実践的な事例を交えてご講義いただいた。受講者は、現場のリアルな声を通じてAIリテラシーを高めるとともに、生成AIに対する意識改革を促された。 ・本市が生成AIの利活用を進める上で直面している具体的な課題に対し、運用上の知見、留意点、および実践的な活用ポイントを明確に把握することができ、今後の導入・展開に向けた有益な示唆を得ることができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦その他 ①研修受講者における成果 ・AIリテラシーの向上 ・生成AIの具体的な活用方法に対する理解の促進 ・担当課業務への生成AI活用に向けた意識改革の醸成 ②AI活用推進課における成果 ・AI利活用の推進役として、今後の具体的な行動計画（TODO）の明確化 ・生成AIの利活用における運用上の知見獲得、留意点の明確化、および実践的な活用ポイントの把握
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙参照
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 生成AIの全庁導入に向けた環境整備と運用ルールの策定、啓発・研修の実施、ガイドラインの改訂を進める。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	研修を通じて職員一人ひとりがAIに関する理解と具体的な活用のイメージができ、習得した知識を各所管課へと波及することで庁全体の意識改革を目指す。AIを積極的に業務に導入・活用することで、より効率的で革新的な行政サービスを実現し、住民サービスの充実につなげる。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

